

植物生命科学科の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

植物生命科学科では、植物生産学及び生命科学に関する専門知識と技術を身につけ、地域社会における農学・生命科学分野のリーダーとして活躍する専門職業人並びにグローバルな視点を持ち国内外で活躍できる人材を育成することを目的として、以下のカリキュラムを編成している。

(知識・理解)

1. 広範な知識と高い倫理性を身につけるために、教養教育科目群、専門基礎科目群、学部共通科目群に属する科目の履修を必修としている。
2. 植物・生命の機能を解明し、農業生産に応用する知識を身につけるために、専門重点科目において作物学、園芸学、植物育種学、植物生理学、植物病理学、応用昆虫学、農業経済・経営に関する科目群を配置している。
3. 植物・生命資源および農学に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができるように「演習科目」および「卒業研究」を配置している。

(関心・意欲)

4. 植物・生命資源に関する具体的な課題への関心と、課題を解決する能力・技術・意欲を身につけるための科目として「農場実習」および「インターンシップ」を配置している。

(態度)

5. 植物・生命資源の創出・発展のニーズに、協調性と倫理性をもって、自律的・継続的に行動できる能力を修得するために「インターンシップ」、「卒業研究」を配置している。

(技能・表現)

6. 論理的な思考の過程と判断の結果をわかりやすく説明するための高いプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得するために、「演習科目」、「卒業研究」、「科学英語」を配置している。